

令和5年5月 総務委員会（所管事項説明聴取）

令和5年5月22日（月）

〔委員会の概要 未来創生文化部関係〕

眞貝委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（13時02分）

今年度の総務委員会におきましては、理事者の説明は着座のままなされますよう、よろしく願いいたします。

これより未来創生文化関係の調査を行います。

この際、未来創生文化部関係の所管事務について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【所管事項及び重点事業の説明】（説明資料）

【報告事項】

なし

上田未来創生文化部長

それでは、総務委員会説明資料によりまして、未来創生文化部の所管事務につきまして、御説明申し上げます。

3ページを御覧ください。

まず、組織についてでございますが、3ページの組織図記載のとおり、7課、1課内室、3センター等の体制となっております。

なお、御承知のとおり、去る5月19日、6月1日付けの人事異動の内示がありましたことから、6月定例会事前委員会の委員会説明資料において、改めて、担当者名の入った組織図をお示しいたしたいと考えておりますので、本委員会の資料につきましては、担当者名を割愛させていただいております。よろしく願いいたします。

4ページを御覧ください。

令和5年度の歳入歳出予算でございます。

一般会計当初予算の総額につきましては、表の左から2番目、5年度当初予算額欄の最下段に記載のとおり186億2,837万6,000円となっております。

5ページを御覧ください。

特別会計でございます。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計におきまして、2億2,344万6,000円を計上しております。

6ページを御覧ください。

継続費の状況でございます。

文化・未来創造課の所管する新ホール整備事業について、一般会計で197億9,300万円の継続費を設定しております。

続きまして、繰越明許費の状況でございます。

次世代育成・青少年課をはじめ、3課1センターにおきまして、一般会計で総額17億6,649万5,000円の繰越枠を御承認いただいております。

7ページを御覧ください。

債務負担行為の状況でございます。

徳島県立埋蔵文化財総合センター受変電設備改修工事請負契約及び徳島県蔵本公園等の管理運営協定につきまして、それぞれ記載しております限度額の債務負担行為を設定しております。

8ページを御覧ください。

次に、重点事業でございますが、8ページから10ページに記載のとおり14項目の事業を掲げております。

以上、総括的に概要を御説明いたしました。詳細につきましては、それぞれ課長等から御説明いたしますので、よろしく願いいたします。

佐藤未来創生政策課長

未来創生政策課の所管事務につきまして、概要を御説明いたします。

12ページを御覧ください。

当課の事務分掌につきましては、記載のとおりでございます。

13ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございますが、一般会計の当初予算額は25億522万2,000円で、前年度当初予算額に比べ、1,042万1,000円、0.4パーセントの減となっております。

14ページを御覧ください。

当課の重点事業でございます。

(1) 部内総合調整事務につきましては、未来創生文化部における政策評価、予算編成事務をはじめ、各種施策の調整を行っております。

(2) 県民との協働事業の推進では、県民の参加と協働による地域づくりを実現するため、NPO、ボランティアなど、県民の自主的、自立的な社会貢献活動を支援する各種事業を行うとともに、地域貢献活動への若者の参画を促進し、県民との協働事業を推進してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

阿部ダイバーシティ推進課長

ダイバーシティ推進課の所管事務につきまして、概要を御説明いたします。

16ページを御覧ください。

当課の事務分掌につきましては、16ページに記載のとおりでございます。

17ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございますが、一般会計の当初予算額は3億8,744万円で、前年度当初予算額に比べ、871万4,000円、2.2パーセントの減となっております。

18ページを御覧ください。

当課の重点事業でございます。

（1）の多様な主体の活躍推進では、多様な人々が持てる個性や能力を存分に発揮し、生き生きと活躍するダイバーシティ社会の実現を目指し、アクティブシニアの活躍支援を推進するとともに、障がい者スポーツ、芸術文化活動の深化と交流促進を図ってまいります。

（2）の国際交流と多文化共生の推進では、グローバル人材の育成や地域の国際化を図るため、ドイツ・ニーダーザクセン州等との相互交流や多文化共生のまちづくりを推進してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

多田男女参画・人権課長

男女参画・人権課の所管事務につきまして、概要を御説明いたします。

20ページを御覧ください。

当課の事務分掌につきましては、20ページに記載のとおりでございます。

21ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございますが、一般会計の当初予算額は6億2,530万円で、前年度当初予算額に比べ、48万6,000円、0.1パーセントの減となっております。

22ページを御覧ください。

当課の重点事業でございます。

（1）の人権を尊重する社会づくりでは、徳島県人権教育・啓発に関する基本計画に基づき、様々な人権問題の解決に向け、各種啓発事業を実施するとともに、市町村や民間団体との連携、協力を図ってまいります。

（2）の男女共同参画社会の実現では、徳島県男女共同参画基本計画に基づき、誰もが輝く社会の実現に向け、男女共同参画の推進拠点であるときわプラザにおける講演会やイベントの実施など機運醸成と意識啓発を図ってまいります。

また、配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画に基づき、普及啓発や相談、保護体制の充実及び自立支援に取り組むとともに、よりそいの樹とくしまを運営し、性暴力被害の防止に関する対策を推進してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

坂野次世代育成・青少年課長

次世代育成・青少年課、中央こども女性相談センター及び徳島学院の所管事務につきまして、概要を御説明いたします。

24ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課の事務分掌につきましては、24ページから25ページに記載のとおりでございます。

26ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございますが、一般会計の当初予算額は105億9,384万4,000円で、前年度当初予算額に比べ、9億4,863万1,000円、率にして8.2パーセントの減となっております。

27ページを御覧ください。

母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計の当初予算額は2億2,344万6,000円で、前年度当初予算額に比べ、2,558万5,000円、率にして10.3パーセントの減となっております。

28ページを御覧ください。

繰越明許費の状況でございますが、さきの2月定例会で児童健全育成対策費などにつきまして、計画に関する諸条件により、一般会計で総額13億5,715万2,000円の繰越枠の御承認を頂いております。

29ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課の重点事業でございます。

（1）の次世代育成支援対策の推進では、希望出生率1.8をかなえるため、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援を実施するとともに、こどもまんなか社会の実現に向け、市町村との緊密な連携の下、子ども・子育て支援新制度を円滑に実施し、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上を図ってまいります。

（2）のこどもの未来に向けた支援強化では、深刻化する児童虐待に適切に対応するため、関係機関の相談支援体制の強化、里親養育への支援及び児童養護施設等の多機能化を推進してまいります。

また、ひとり親家庭の自立に向け、就業、生活支援等、幅広い施策を推進するとともに、こども食堂の全県的展開やヤングケアラーの早期発見、支援など、子供が健やかに成長できる環境の構築に取り組んでまいります。

（3）の青少年健全育成の推進では、とくしま青少年プラン2022に基づき、未来に向かって挑戦し、成長、活躍できる「とくしま」の実現に向け、全ての青少年の健やかな育成や未来を切り拓く青少年の応援など、県民総ぐるみによる青少年育成を推進するとともに、若者の新たな交流拠点であるとくぎんトモニプラザの魅力ある管理運営を行ってまいります。

31ページを御覧ください。

中央こども女性相談センターの事務分掌についてでございますが、31ページに記載のとおりでございます。

33ページを御覧ください。

徳島学院の事務分掌についてでございますが、33ページに記載のとおりでございます以上でございます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

益田文化・未来創造課長

文化・未来創造課の所管事務につきまして、概要を御説明いたします。

35ページを御覧ください。

当課の事務分掌につきましては、記載のとおりでございます。

36ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございますが、一般会計の当初予算額は21億9,058万1,000円で、前年度当初予算額に比べ、9億3,241万1,000円、74.1パーセントの増となっております。

37ページを御覧ください。

継続費の状況でございます。

当課の所管する新ホール整備事業について、一般会計で197億9,300万円の継続費を設定しております。

38ページを御覧ください。

繰越明許費の状況でございますが、さきの2月定例会におきまして御承認を頂いております新ホール整備事業費につきまして、計画に関する諸条件から今年度に繰り越したものでございます。

続いて、当課の重点事業につきましては、（1）の文化の振興では、2025年大阪・関西万博の開催を見据え、あわ文化4大モチーフやあわ三大音楽を中心に、あわ文化の魅力を国内外に発信するとともに、二度の国民文化祭の成果を継承、発展させるため、県民が主役となる文化活動を積極的に展開し、次世代、後継者育成や地域活力の向上を図ってまいります。

また、新ホールの整備に取り組むとともに、引き続き、本県の文化活動の拠点であるあわぎんホール、文学書道館、阿波十郎兵衛屋敷の管理運営を行ってまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

多田文化資源活用課長

文化資源活用課の所管事務につきまして、概要を御説明いたします。

40ページを御覧ください。

当課の事務分掌につきましては、40ページに記載のとおりでございます。

41ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は5億3,623万6,000円で、前年度当初予算額に比べ、8,673万3,000円、13.9パーセントの減となっております。

42ページを御覧ください。

繰越明許費の状況でございますが、さきの2月定例会におきまして御承認を頂いております文化財保護費につきまして、計画に関する諸条件から今年度に繰り越したものでございます。

続いて、債務負担行為の状況でございます。

徳島県立埋蔵文化財総合センター受変電設備改修工事請負契約につきまして、記載しております限度額の債務負担行為を設定しております。

43ページを御覧ください。

当課の重点事業でございます。

（1）の文化財の保存・活用の推進では、文化財の適切な保存とともに、地域の新たな観光資源として徳島の魅力発信を図るため、地域の特色を示す様々な文化財の活用や環境

整備を推進してまいります。

また、四国遍路、鳴門の渦潮の世界遺産登録や板東^ふ俘虜収容所関係資料のユネスコ「世界の記憶」登録を目指した施策を展開してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

岡島文化の森振興センター副所長

文化の森振興センターの所管事務につきまして、御説明いたします。

45ページを御覧ください。

当センターの事務分掌につきましては、45ページに記載のとおりでございます。

46ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は9億9,524万4,000円で、前年度当初予算額に比べ、9,414万円、10.4パーセントの増となっております。

47ページを御覧ください。

繰越明許費の状況でございますが、さきの2月定例会におきまして御承認いただいております21世紀館運営費につきまして、計画に関する諸条件から今年度に繰り越したものでございます。

最後に、重点事業でございます。

文化の森総合公園の魅力度向上では、郷土徳島の文化等の特色を前面に打ち出した博物館新常設展を中心に、複合施設の特色を生かした魅力ある企画展等を実施し、誘客を促進するとともに、デジタルアーカイブ事業を推進し、各館、所蔵資料の閲覧機会の増大を図ってまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

大西スポーツ振興課長

スポーツ振興課の所管事務につきまして、概要を御説明いたします。

49ページを御覧ください。

当課の事務分掌につきましては、記載のとおりでございます。

50ページを御覧ください。

令和5年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は7億9,450万9,000円で、前年度当初予算額に比べ、1億649万4,000円、11.8パーセントの減となっております。

51ページを御覧ください。

債務負担行為の状況でございます。

徳島県蔵本公園等の管理運営協定につきまして、記載しております限度額の債務負担行為を設定しております。

52ページを御覧ください。

当課の重点事業でございます。

（1）の生涯スポーツの振興では、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの活用やサイクルスポーツの普及など、スポーツに参加しやすい環境づくりを推進するとともに、第77回全国レクリエーション大会2023 in とくしまを開催いたします。

（2）の競技力向上と未来型スポーツ環境の創造では、団体競技の強化や次世代育成等の対策を総合的に推進し、競技力の向上を図るとともに、未来型スポーツ環境の創造に向けた検討を進めてまいります。

（3）のスポーツ交流の推進では、国際スポーツ大会のレガシーを活用したホストタウン相手国との交流を更に深化させるとともに、スポーツツーリズムを推進し、本県スポーツの競技力向上や交流人口の拡大による地域活性化を図ってまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

上田未来創生文化部長

未来創生文化部の所管事務の説明につきましては、以上でございます。

なお、報告事項はございません。

よろしくお願いいたします。

眞貝委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

扶川委員

男女共同参画事業という関係でお尋ねします。

女性の県庁内での昇格が徐々に進みつつあると思うんですけど、一方で育児休業なんかは、男女問わずどんどん取れるようにこれも進んできていると思うんですけど、データとして、例えば、育児休業で1年休んだとする場合に、それが一切、人事、昇任昇格に影響しないという保証があるかないかということは大事な事だと思うんです。このあたりどのようなになっていますか。

眞貝委員長

扶川委員、本日の委員会の質疑に関しましては、先ほど決定いただいたように、理事者の説明に関する質疑だけにとどめていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

扶川委員

男女共同参画社会を実現することを進めていく所管としての認識について説明を求めたわけです。

多田男女参画人権課長

ただいま扶川委員から、男女共同参画社会の実現のために、例えば、育児休業の取得の推進でありますとか、女性の管理職の割合を高めることとかを進めるべきではないかと、それは男女共同参画の担当部局としてどう考えるかというような御質問だったと思います。

県庁全体の育児休業の取得でありますとか、女性管理職の割合の担当部局は経営戦略部になりますけれども、男女共同参画の担当部局として、現在、男女共同参画の計画も作成しているところでございますので、経営戦略部と連絡を密にして検討を進めてまいりたいと考えております。

扶川委員

男女共同参画を進める部局がこちらで、人事をやるところはまたこちらでと、それは分かるんだけど、人事と男女共同参画と切っても切り離せないのも、是非そこはデータに基づいた男女共同参画が進むようお願いしたいなということをお願いしておきます。

あと、もう1点だけ。DVはこの部局で扱うわけですけど、加害者をサポートする部局、担当課はありますか。

多田男女参画人権課長

ただいま扶川委員から、DVの加害について、担当する部局はあるかということについての質問であったと思います。

県におきましては、配偶者等からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であるとの認識の下、中央、南部、西部の県内各3か所のこども女性相談センターにおいて、まずは被害者の視点に立ちました相談体制を確立し、自立支援を行っているところでございます。DV加害者の更生につきましても、被害の再発防止などDV被害者支援という観点から考えても重要なことであると考えております。

加害者との接触は警察において行っているところであることから、引き続き、当部局といたしましては、警察との連携によりDV被害の再発防止に取り組んでまいりたいと考えております。

扶川委員

独自の担当局があってもいいんじゃないかと、今日も所管説明を聞いて思いました。前にも東条委員さんと一緒に議論したことがありますけど、加害者の側にも人権があるわけですし、その加害者の側のどこに何が問題があったかということきちんと反省していただく道を付けていかないと、また同じことを繰り返してしまうんです。そうならないようにしていただきたいということだけ申し上げて終わります。

眞貝委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、未来創生文化部関係の調査を終わります。

次に、委員会視察についてであります。

県内視察については、前期視察を9月定例会までに、後期視察を9月定例会終了後、2月定例会までに行いたいと思います。県外視察については、6月定例会閉会后、議会運営委員会の県外視察終了後に実施いたしたいと思います。

また、日程や調査すべきテーマ、視察箇所等につきましては、皆様の御提案も頂き、私のほうで案を作りお示ししたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と言う者あり）

それでは、さよう決定いたします。

これをもって、総務委員会を閉会いたします。（13時28分）